

柿園管理情報 第4号

令和2年6月12日
砺波農林振興センター
城端果樹協会

1. 防除について

6月上旬の気温が高かったことから、カイガラムシの発育が早まっており、6月19日頃と6月29日頃（2山）がふ化のピークと予想されます。

また、カメムシ類の発生が非常に多いことから、7月14日頃の防除にスミチオン水和剤を追加しております。

適期を逃さず防除は遅れないように行って下さい。

以下の計画を参考に防除を行って下さい。

散布時期	対象病害虫	散布薬剤	使用倍率	100リットル当たり薬量
6月19日頃	落葉病・炭そ病	ジマンダイセン水和剤	600	166g
	カイガラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	4,000	25g
6月29日頃	落葉病・炭そ病	トレノックスフロアブル	500	200ml
	カイガラムシ類	スプラサイド水和剤	1,500	66g
7月14日頃	炭そ病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1,500	66g
	カメムシ類、ゾクカイガラムシ	スミチオン水和剤40	1,000	100g

※ 農薬散布は薬害の出やすい高温時を避け、朝や夕方の涼しい時間帯に散布して下さい。

※ 周囲の他の作物に薬剤が掛からないように十分注意して下さい。

※ 主幹や主枝等の不必要な徒長枝は切除し、薬液をかかりやすくして下さい。

なお、過度な芽かきは生理落果を助長しますので注意してください。

畦畔柿では、6月19日頃 アミスター10フロアブル 1,000倍

スミチオン水和剤40 1,000倍

7月29日頃 トップジンM水和剤 1,000倍

スミチオン水和剤40 1,000倍

を使用して下さい。(柿以外にかからないよう充分注意してください)